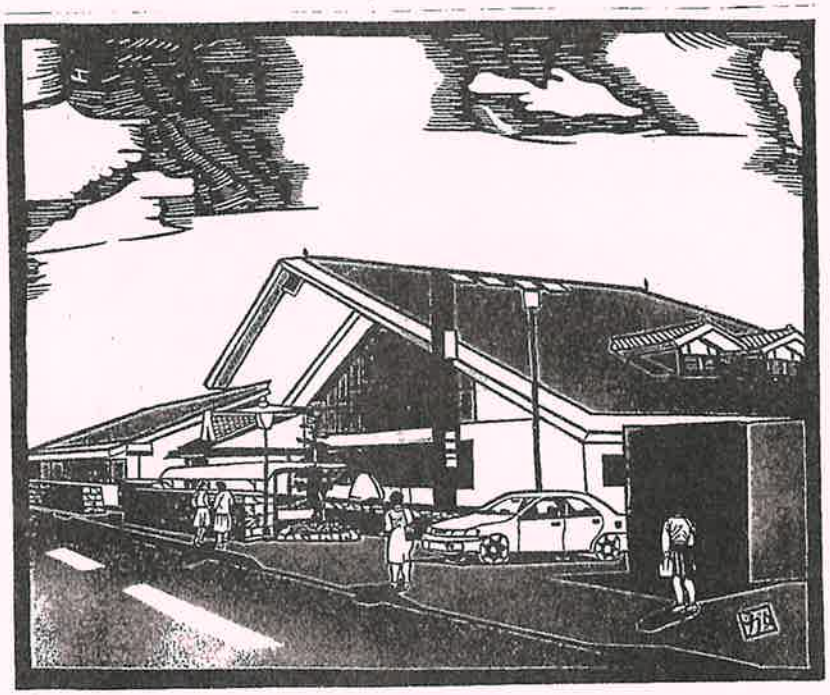
平　成　２０　年　度

島原図書館要覧



（財）島原市教育文化振興事業団

島　原　図　書　館

島原市城内一丁目１２０２番地

TEL　０９５７－６４－４１１５

FAX　０９５７－６４－３９２５

表紙の絵は、
切り絵作家
加藤幸穂氏
の作品です。
（島原図書館　所蔵）

目　　次

1．沿　　革 ---------- 1

2．島原図書館の概要 ---------- 3

3．利　用　案　内 ---------- 4

4．島原図書館の運営 ---------- 5
(1)　基　本　方　針
(2)　重　点　目　標
(3)　管理運営業務
(4)　業　務　分　担

5．予　　算 ---------- 9
(1)　教育委員会予算
(2)　事業団予算(指定管理料)

6．平成１９年度利用状況 ---------- １１

7．蔵　書　数 ---------- １８

8．行　　事 ---------- ２０

島原図書館付設　松平文庫 ---------- ２１

1.島　原　図　書　館　の　沿　革

昭和６０．	３．	定例市議会で市長が図書館建設方針を明確にし、建設予算可決
６０．	７．　８	島原図書館建設工事着工（建設費　３６８，６３６千円）
６１．	３．　５	島原市教育文化振興事業団設立　民間委託
６１．	３．２５	島原図書館建設工事完了（延床面積１，６２５．２０㎡）
６１．	４．　１	島原図書館設置条例の施行
６１．	４．　１	初代館長　長井　駿一郎　就任
６１．	５．２６	コンピュータ（富士通）導入設置稼働　ＦＡＣＯＭ　Ｋ２７０
６１．	７．３０	島原図書館設置条例施行規則の施行
６１．	７．３０	本館　落成式を挙行
６１．	７．３１	本館開館　蔵書冊数３万冊
６１．１１．	１	島原図書館各分室を本市６公民館に開設
６２．１０．１４		長崎県公共図書館大会が白山公民館で開催される
平成　元．	８．２９	県立図書館オンライン端末設置ＮＥＣ　Ｎ５２００
３．	４．　１	第２代館長　中山　春男　就任
４．	４．　１	コンピュータ（富士通）設置　ＦＡＣＯＭ　K650/Si10　１式
６．	４．　１	第３代館長　広瀬　彪二　就任
６．	９．　１	県立図書館オンライン端末設置 NEC　PC9821AP2　１式
７．	１．　９	島原新聞永久保存のためのマイクロフィルム化開始
７．	７．２８	移動式保存書庫導入開始
７．	７．３１	島原南高公共図書館研究協議会発足
７．１２		図書館等図書整備基金利息分が特別購入費として予算化される
８．	７．　２	図書配布用軽自動車購入
８．	７．１６	島原図書館開館１０周年記念講演会開催 講師　佐藤英和氏（こぐま社　社長） 9．22　文化講演会　講師　松尾展成氏（岡山大学教授）
９．	４．　１	第４代館長　梅林　次生　就任
１０．	４．　１	富士通コンピュータ図書館管理システム一式導入 利用者端末導入、インターネット利用のための回線設置
１１．	２．　１	ハンディターミナル２台購入
１１．	２．	「島原図書館」既存分データ変換 （固定長から可変長 TRC ﾏｰｸ U ﾀｲﾌﾟ）

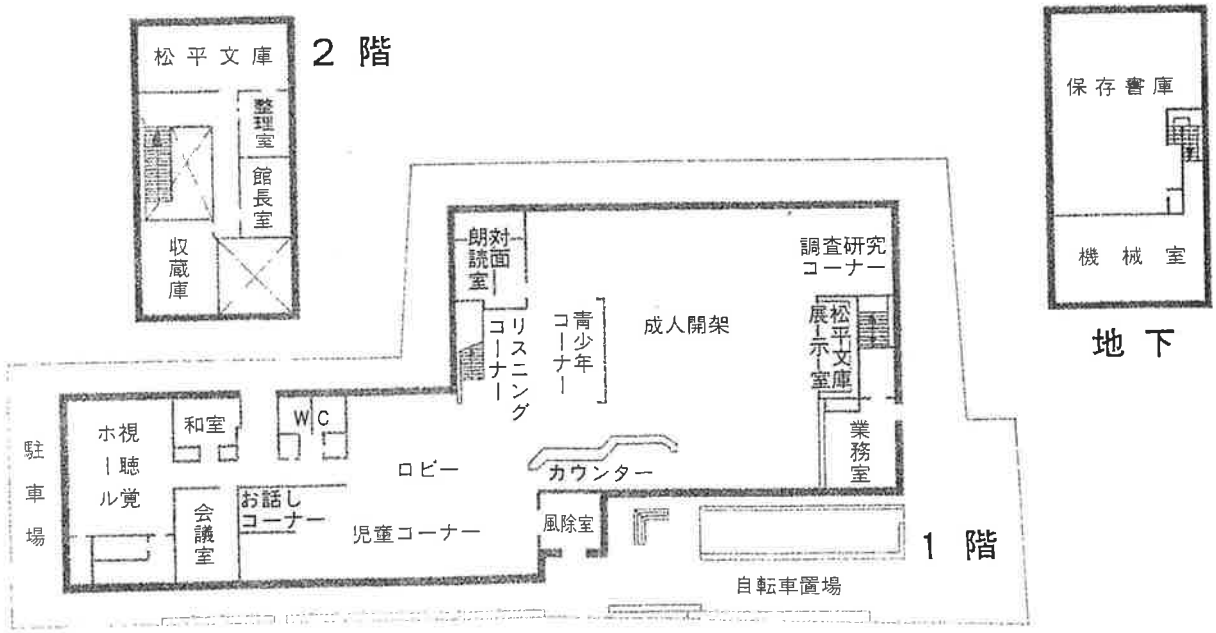
１１．　７．	教育委員会は全国子ども放送局受信装置（テレビ、パソコン）を図書館に設置。平成１７年３月に廃止。
１２．　４．　１	県立ｵﾝﾗｲﾝ、TRC への発注管理業務のｲﾝﾀｰﾈｯﾄ化並びに TRC CD-ROM 版のリース開始
１２．１１．　５	２０００年こども読書年記念講演会開催　講師　佐藤英和氏
１２．１１．１８	原画展（佐藤正美氏作品「ハルミとハルオの愛の物語原画」）
１３．　４．　１	第５代館長　井手上　隆　就任
１３．　４．～	開館時間延長（金曜日は２０時まで） 貸出点数制限変更　図書５冊→１０冊　ビデオ１本→２本
１４．　４．　１	第６代館長　松島　利彦　就任
１４．　７．１７	カラーコピー機導入
１４．　７～８	軒の瓦吹き替え及び外壁塗装工事
１５．１０．２４	全館に電波時計設置
１５．１１～１２	上部屋根軒部分の瓦葺替え工事
１６．　４．　１	第７代館長　大隅　謙一郎　就任
１６．　４．　１	コンピュータ管理システム再契約（５年リース初年度）
１７．　２．２８	空調機改修
１８．　４．　１	島原図書館の管理に関する指定管理者として、（財）島原市教育文化振興事業団が指定される。
１８．　４．　１	月曜日が祝日になるときはその翌日（火曜日）を休館日と改正
１８．　４．２２	島原図書館開館２０周年記念として県教育委員会主催「ながさきおはなしフェスティバル in しまばら」を開催 島原文化会館・森岳公民館　　講演会講師　柳田邦男氏
１８．　７．２２	開館２０周年記念講演会（市民文化講座・郷土史を学ぼう会） 森岳公民館　　講師　長崎大学名誉教授　外山幹夫先生
１８．１１．１９	開館２０周年記念講演会・原画展 講師・原画　　絵本作家　和歌山静子さん
１９．　４．　１	島原図書館長が（財）島原市教育文化振興事業団を指定管理者とする有明図書館の館長を兼務。
２０．　３．２７	島原・有明両図書館の図書管理システムを iLiswing21/We に統合 貸出冊数変更（両館合わせて図書２０冊以内、ビデオ３本以内） ホームページの開設（ shimabara-city libraries.jp ）
２０．　４．　１	第８代館長　田浦　俊明　就任

2. 島原図書館の概要

1.場　　所　長崎県島原市城内一丁目1202番地
2.構　　造　鉄筋コンクリート造
　　地下1階　地上2階建
3.敷地面積　2,086.55㎡
4.建築面積　1,233.76㎡
5.延床面積　1,625.20㎡
6.収容人員　会議室(和室)／20人
　　視聴覚ホール／100人
　　会議室(洋室)／40人

階	ゾーン	室名	面積
1	導入部	風除室	20.79 ㎡
		ロビー	40.803㎡
	開架部	成人開架部	347.743㎡
		地域行政資料	75.33 ㎡
		レコードテープ	37.665㎡
		青少年開架部	84.24 ㎡
		展示くつろぎ	54.928㎡
		視聴覚資料室	40.095㎡
		松平文庫展示室	23.821㎡
		事務作業室	36.209㎡
		児童開架部	163.721㎡
	付属部分	階段室	20.475㎡
		便所・湯沸室	23.76 ㎡
		廊下	39.313㎡
	集会部	視聴覚ホール	84.262㎡
		洋室	36.753㎡
		和室	25.245㎡
	その他	(倉庫・準備室)	38.597㎡
2	管理部	松平文庫収蔵庫	57.375㎡
		整理室	17.978㎡
		館長・閲覧室	21.855㎡
		古文書収蔵庫	42.536㎡
	その他		51.086㎡
地下1	その他	保存書庫	151.721㎡
		階段	12.009㎡
		機械室・その他	76.890㎡
計			1,625.20㎡

図書館平面図



3．利用案内

1．開館時間　　午前１０時～午後６時（毎週金曜日は、午前１０時～午後８時）

2．休館日
(1)　毎週月曜日。ただし、その日が祝祭日であるときは、火曜日。
(2)　　１月　１日～　１月　４日
　　１２月２８日～１２月３１日
(3)　資料整理日(毎月末。その日が月曜日に当たるときは、翌日)
(4)　特別整理期間　（２月）

3．図書館（貸出券）を利用できる人
・島原市民
・島原半島一円に在住、または本市に通勤、通学している人

4．貸出サービス（点数は、いずれも有明図書館との合計数）
○図書の利用
・一人２０冊（大型絵本は１冊）まで、期間は１５日以内。
・団体貸出は５０冊まで、期間は１５日以内。（団体貸出券が必要）

○ビデオの利用
・一人３本まで、期間は８日以内（ただし１８歳以上）。

○カセットテープの利用
・一人３本まで、期間は８日以内。

○雑誌の利用
・最新号を除き、図書と合わせて２０冊まで。

5．その他のサービス
○予約サービス ---------- 館内にある本で貸出中の本に予約をした場合、その本が返却された時点で連絡をする。
○相互貸借サービス ---------- 国立国会図書館・長崎県立図書館をはじめ他の公共図書館と、図書の相互貸借を行う。
○リクエスト購入サービス ----- 希望する図書を所蔵していないときは、選書会議にかけたうえで、要望に応える。
○レファレンスサービス ------- 読書相談、参考相談、情報提供を行う。
○コピーサービス ---------- 著作権法の範囲内で図書館資料のコピーサービスができる。
○視聴覚資料の視聴サービス -- レーザーディスク(LD)、ビデオテープ、コンパクトディスク(CD)等の館内視聴。
○ホームページの提供 ------- 図書館案内や蔵書紹介・行事紹介等の情報を提供する。

6．施設の利用
○視聴覚ホール、会議室、和室（事前に申し込みが必要）

４．島原図書館の運営について

（１）基本方針

ひらかれた図書館ー自由に楽しく、したしみやすい図書館

（２）重点目標

有明図書館とのシステム統合にともない、両館の有機的・効率的な運営に努め、利用者へのサービス拡大を図る。

１．貸し出しサービスの充実

○　読書案内・予約サービス・レファレンスなど、日々のサービスを積極的に行う。
○　団体貸し出しの推進に努める。
○　分室のＰＲと利用促進に努める。

２．図書館資料・情報の充実

○　市民の求める資料の収集に努める。
○　郷土資料の収集に努める。
○　自主講座をとおして図書館資料の活用を図る。

３．児童・青少年に対するサービスの充実

～「島原市子ども読書活動推進計画」の積極的推進～
※島原半島おはなしフェスティバルの開催

○　児童図書コーナーの充実を図る。
○　小・中学校、幼稚園、保育所などの関係教育機関や学校図書館ボランティアとの連携を図る。
※図書ボランティア養成講座の開講
○　読み聞かせの会や催し物を定期的に行い、児童の図書館利用のきっかけをつくる。

４．親しみやすい環境づくり

○　気軽に利用できる明るい雰囲気づくりに努める。
○　ホームページや図書館だより、市の広報誌などによって図書館に対する理解や周知を図る。

（3）島原図書館管理運営業務

事　業	内　容
施設の運営	指定管理者での運営が３年目となった本年度は、更なるサービスの向上を図り、併せて経費の一層の削減に努める。また、システムが統合化された有明図書館との提携を強化する。
図書館資料の整備充実	１．新刊図書・雑誌の購入、郷土資料の収集に努める。 ２．視聴覚資料（カセットテープ、ビデオ、CD、LD）の整備に努める。
図書館サービスの充実	１．図書館利用の拡大を図る。 （１）休館日（月曜日）が祝日（休日）となる時は、翌火曜日を休館する。また、金曜日の利用時間は午後８時までとする。 （２）貸出冊数は一人２０冊以内（ビデオは３本以内）とする。（有明図書館と合わせて） （３）土・日曜日及び祝日は臨時駐車場として、島原振興局及びJA島原雲仙島原支店の駐車場を活用する。 ２．図書貸出業務の円滑化を図る。 （１）業務用コンピュータの有明図書館との統一。有明図書館との共通利用者カードの発行 （２）ホームページによる図書館情報の積極的提供 （３）リクエスト（予約）サービスの充実 ３．レファレンス（相談）業務の充実に努める。 ４．魅力ある図書館行事を開催する。 （１）定例行事・講座 ア 児童対象・名作を見る会　（毎月第２日曜日） ・おはなしひろば　（毎月第４土曜日） ・おはなしのじかん（毎月第１，２，３，５土曜日） イ 一般対象・郷土史を学ぼう会（毎月第４土曜日） ・子どもの本を読む会（毎月１回） （２）各種講座の実施 ア 手作り講座　イ 夏休み講座（工作・郷土学習・科学教室） （３）季節的行事 ア 「子ども読書の日（４．２３）」及び図書館まつり イ 七夕、クリスマス会等の行事 （４）その他 ア 市内小中学校等でのお話し会　イ 三歳児健診時の「読み聞かせ」 ウ 「ブックスタート事業」への協力
読書普及活動の推進	１．「図書館だより」の発行と団体利用券の利用拡大 ２．市内小中学校及び幼稚園・保育園との連携 ３．図書館分室の充実（毎月１回の配本） ４．読書会や各種文化活動の推進と後援（文連読書会、さくら読書会、句楽会、古文書を読む会等） ５．学校図書ボランティアとの提携強化 ６．児童感想画展の実施
施設の管理	１．施設の整備、管理保全に努める。 ２．館内の美化に努める。

（４）業務分担

担　当	業　務　内　容
全　員	＊カウンター業務 貸出・返却・リクエスト受付 各種届処理（貸出券忘れ・住所変更届・図書紛失届等） 貸出券登録受付・リスニングコーナー受付・コピー・図書検索 ＊配架（１４：００、１７：００） ＊書架整理　＊書架表示管理 ＊図書装備、修理　＊用紙印刷 ＊新聞綴じ・閉館準備－１８：００以降にする ＊コンピューター起動、日報・予約一覧出力、終了 ＊月末整理（統計出力）　＊特別整理（２月）　＊分室配本 ＊早番（ 9:00~17:45 勤務）＊遅番（ 13:00~20:15 勤務）
司　書	＊リクエスト処理　＊各種届け処理　＊ブックスタート ＊貸出券登録　＊レファレンス（読書相談） ＊お話会（よみきかせ）　＊資料選定－週１回選書会議 ＊３歳児健診お話会　＊各担当特集コーナー（壁）設置
館　長	＊総括　＊他機関との連携　＊入札・契約関係 ＊図書館協議会、館長会、理事会等　＊郷土史・句楽会関係 ＊職員研修　＊予算書作成（１０～１１月）　＊その他
吉　岡	＊経理（事務局との連絡） 支出決議書・請求書・領収書等 返納（公衆電話、コピー）銀行 決算報告（３月）　備品台帳、購入物品の検収 ＊勤務関係 出勤簿・勤務関係諸願届（年休等） 超過勤務等命令簿（随時） ＊車両（洗車）管理　＊施設整備管理（冷暖房等）
森　松 （担当　郷土）	＊館務日誌（毎日）　＊勤務予定表（年４回） ＊行事予定表（集会室使用許可申請・各事業所へ送付） ＊業務報告書　＊行事企画・実施 ＊年報（年間統計　４月）　＊月報（月統計　月初め） ＊各行事広報全般　＊広報しまばら（行事予定） ＊特別整理計画・実施（２月）＊除籍伺い（年度末） ＊実習生　実習計画・実施　＊文書収受，＊各種調査 ＊オフィスメーション対応　＊図書館だより（一般） ＊視聴覚資料　発注、整理、管理（選定　司書）－－予算管理 ＊名作を見る会等の上映会　＊視覚障害者用カセットダビング

担　　当	業　　務　　内　　容
山　　北 （担当　児童）	＊図書発注、整理－－図書費予算管理 ＊リクエスト処理（書店発注・ＷＡＮＴＥＤ相互貸借県内外・国会図書館等）（主） ＊分室本用意　　＊広報しまばら等（新刊） ＊出張おはなし会
中　　島 （担当　児童）	＊図書登録全般　　＊寄贈図書受入　　＊分室配本（主・統計） ＊リクエスト処理　ＷＡＮＴＥＤ相互貸借　（補助） ＊図書館だより（児童）　＊出張おはなし会 ＊督促（予約本・随時）　＊電話帳受入
多　　田 （担当　一般）	＊雑誌・逐次刊行物受入、整理 ＊読書感想画展計画実施（主） ＊郷土コーナー（パンフレット整理） ＊郵便物回覧　　＊郵便物発送（切手、葉書管理） ＊ポスター管理　　＊市役所との連絡 ＊督促（返却日を2.3ヶ月経過したもの・その後未返却の場合随時） ＊図書館だより（青少年） ＊読書感想画展実施（補助）＊福祉支援情報システム情報入力

平成２０年　４月　１日より

5. 予 算

(1)平成20年度 島原市教育委員会 社会教育課予算

10款 教育費 4項 社会教育費 4目 図書館運営費

節 名(細節名)	摘 要		本年度予算額(千円)	前年度予算額(千円)
報 酬			90	101
島原図書館協議会委員	図書館協議会委員出席報酬	89,600	90	101
需 用 費			511	500
修 繕 料	裏玄関自動ドア改修	262,500	511	500
	休憩室改修(流し台新設)	190,050		
	公用車車検整備	57,750		
役 務 費			117	70
手 数 料	公用車車検手数料	23,000	23	0
保 険 料	建物火災保険料	21,456	94	70
	ガラス特約保険料	35,000		
	自動車損害特約	12,553		
	自動車損害保険料(自賠責)	24,880		
委 託 料			56,508	56,502
島原新聞デジタル化委託料	マイクロフィルムのデジタル化委託	730,800	731	725
図書館指定管理料	島原図書館指定管理料	43,613,000	55,777	55,777
	有明図書館指定管理料	12,164,000		
工事請負費			0	700
工事請負費			0	700
備品購入費			12,050	12,300
庁用器具費	DVD・ビデオプレイヤー	50,000	50	0
図 書 費	図書購入費	12,000,000	12,000	12,300
	本館分・分室用(公民館)・直接分			
	図書装備手数料			
	特別購入分			
	国内ガイドブック他			
	古書購入費			
	図書基金購入分			
	ビデオテープ購入費			
	CD購入費			
	紙芝居購入費			
	視聴覚用ビデオ購入費			
公 課 費			9	0
自動車重量税	公用車自動車重量税	8,800	9	0
積 立 金			349	61
図書館等図書整備基金積立金	図書館等図書整備基金積立金		0	1
	利子積立金	347,544	348	60
	寄附金積立金	1,000	1	
合 計			69,634	70,234

(2)平成20年度

財団法人島原市教育文化振興事業団　　図書館指定管理料　　（単位 ： 千円）

小科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
給与手当	25,470	23,114	2,356	職員
退職手当	0	1	△ 1	
福利厚生費	4,412	3,856	556	法定福利費、中退共掛金
賃金	1,723	3,246	△ 1523	臨時事務員賃金
旅費交通費	175	257	△ 82	普通旅費
食糧費	16	43	△ 27	
通信運搬費	853	889	△ 36	郵便、電話、宅配料
什器備品費	142	167	△ 25	書架
消耗品費	5,145	4,946	199	逐次刊行物、視聴覚用資材 図書整備、事務用等消耗品
修繕料	400	375	25	小修繕料
印刷製本費	351	464	△ 113	カレンダーしおり 各種様式等印刷代ほか
燃料費	78	70	8	公用車燃料代
光熱水費	5,052	5,064	△ 12	電気、ガス、水道料
保険料	10	13	△ 3	
賃借料	4,797	5,567	△ 770	コンピューターリース料ほか
諸謝金	358	476	△ 118	講師謝礼ほか
手数料	347	347	0	振込手数料ほか
租税公課	1,593	1,457	136	消費税ほか
負担金	95	105	△ 10	図書館協会費ほか
委託料	4,761	5,320	△ 559	施設管理業務委託料
合計	55,778	55,777	1	

６．平成１９年度の利用状況

（１）　概況

島原図書館は、７名の職員により生涯学習にふさわしい環境づくりと市民の要求に適切に対応できる図書館として、資料の充実及び利用の促進に努めてまいりました。

島原図書館と有明図書館との業務用コンピュータシステムの統合により、共通利用者カードを発行するとともに、それぞれの図書館における蔵書管理と貸出・返却とを一本化することができました。

貸出冊数も両館合わせて２０冊とし、予約時に受け取り館を選べるなど利用者の利便性の向上を図り、より一層のサービスに努めました。

また、ホームページを開設し、蔵書の検索や新着図書などの情報をインターネットを通じて利用者に提供することが可能になりました。

長崎県公共図書館等協議会や島原半島公共図書館等研究協議会が主催する各種研修会に参加して、職員の資質向上に努めてまいりました。

島原図書館の蔵書数は、１０１，２４１冊、視聴覚資料４，２６４点逐次刊行物は雑誌１０８誌、新聞１２紙となっております。

利用状況は、開館日数が２８０日、利用者数は４３，２６２名、登録者数は３８，５９４名でした。

また、１年間の貸出点数は、１６０，２９１点、そのうち一般書は９６，３００冊、児童書は４７，３００冊、雑誌その他１６，６９１点で、市民の要望による予約リクエストは、２，４４９件でした。

ビデオ・カセット等の視聴覚資料の貸出本数４，０９９本、館内での視聴利用者３，０１４名、インターネット利用者２，７４５名でした。

自主事業については児童を対象とした「おはなしのじかん」は３４回８３６名、「おはなしひろば」は９回２６４名、「名作を見る会」の映画会は１２回２０６名でした。

一般対象の「郷土史を学ぼう会」は１２回、５２７名でした。

その他の季節的な行事として、映画会（ゴールデンウイーク、夏休み等）、七夕まつり、夏休み工作教室、夏休み科学教室、図書館まつり、クリスマスおはなし会、手作り講座として布の絵本作り・こけ玉作り、クリスマスリース作り等を実施しました。

読書感想画展には、小学生・中学生から２６４点の応募がありました。

６公民館に設置しております図書館分室には、約３００冊を１か月毎に配本し、貸出冊数７７４冊、４６５名の利用がありました。

図書館のサービス事業として、保健センターでの３歳児健診時のおはなし会や小学校での手遊びやおはなし会などを実施しました。

また、島原市のブックスタート事業や学校図書館ボランティア活動への積極的な支援と協力、市内各中学校生徒の職場体験学習の受け入れを行いました。

（２） 利用状況

１．図書・雑誌の利用　　貸出点数　　１６０，２９１点

利用者　　４３，２６２人

２．視聴覚資料の利用

（館内視聴）　カセットテープ　　７０人
ＣＤ　　５３１人
ビデオテープ　　１，４９３人
レーザーディスク　　９２０人

（貸出）　カセットテープ　　４９７本
ビデオテープ　　３，６０２本

３．集会部門の利用者（視聴覚ホール・和室・会議室）

合計　３，６６５人

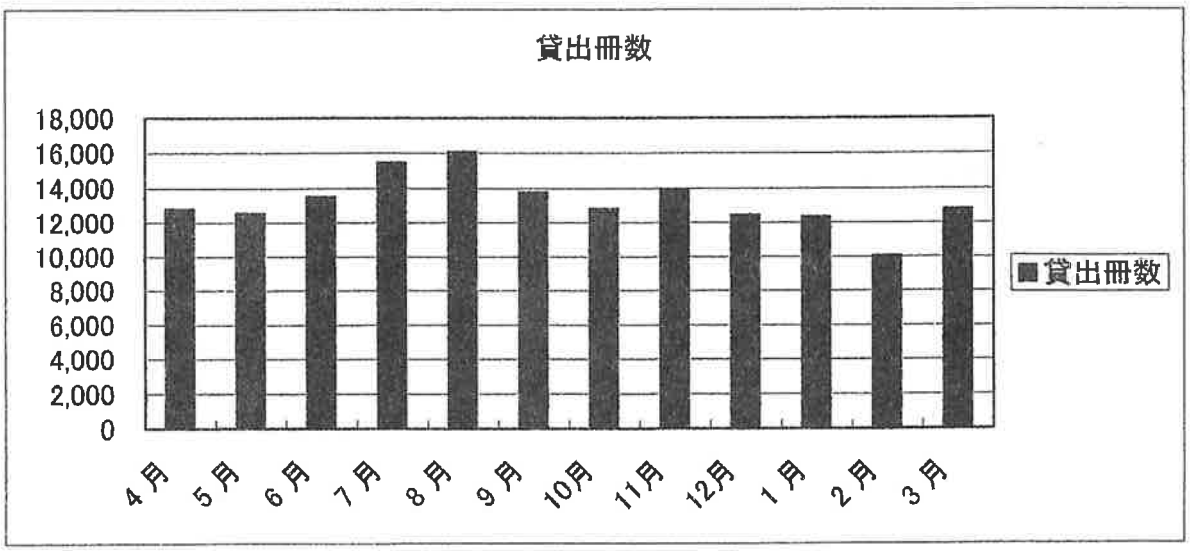
４．登録者　　３８，５９４人

５．分室の利用状況

	貸出人数	貸出冊数
三会	２１人	３１冊
杉谷	９４人	１０５冊
森岳	５６人	１３０冊
霊丘	９９人	１４２冊
白山	１２７人	２４３冊
安中	６８人	１２３冊
合計	４６５人	７７４冊

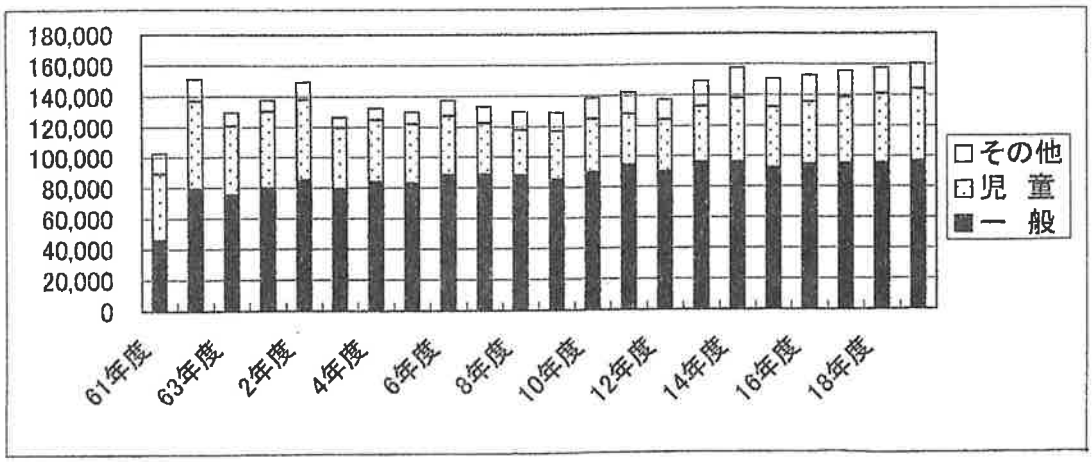
（３）　月別利用統計表

	日　数	一　般	児　童	雑　誌	他	貸出合計	貸出人数
4 月	25 日	8,112	3,297	944	414	12,767	3,356
5 月	25 日	7,982	3,099	1,063	400	12,544	3,312
6 月	25 日	8,377	3,728	991	392	13,488	3,676
7 月	25 日	8,726	5,155	1,177	385	15,443	4,208
8 月	26 日	8,667	6,020	975	408	16,070	4,608
9 月	25 日	8,681	3,640	1,069	347	13,737	3,638
10月	25 日	7,973	3,525	968	312	12,778	3,371
11月	25 日	7,906	4,645	1,066	286	13,903	3,918
12月	23 日	7,221	3,898	1,020	282	12,421	3,167
1 月	22 日	7,538	3,420	1,072	307	12,337	3,209
2 月	14 日	6,374	2,697	822	124	10,017	2,397
3 月	20 日	7,632	3,842	989	294	12,757	3,077
未登録	— 日	559	112	87	497 カセット	1,255	860
公民館	— 日	552	222	—	—	774	465
合　計	280 日	96,300	47,300	12,243	4,448	160,291	43,262



（４）年度別貸出点数

	一般	児童	その他	合計
61年度	45,812	43,165	13,793	102,770
62年度	79,617	57,303	14,433	151,353
63年度	75,432	45,299	8,921	129,652
1年度	79,694	50,667	7,136	137,497
2年度	85,136	52,846	11,719	149,701
3年度	79,398	40,099	6,996	126,493
4年度	83,833	40,964	7,450	132,247
5年度	82,897	39,212	7,763	129,872
6年度	87,954	39,046	10,168	137,168
7年度	88,573	34,094	10,761	133,428
8年度	87,859	30,052	12,258	130,169
9年度	85,130	31,927	12,453	129,510
10年度	89,387	35,443	13,604	138,434
11年度	93,916	33,970	14,488	142,374
12年度	89,566	34,520	12,965	137,051
13年度	95,637	36,967	16,529	149,133
14年度	95,639	42,356	19,481	157,476
15年度	91,780	40,302	18,714	150,796
16年度	94,298	41,151	17,496	152,945
17年度	94,648	43,731	17,271	155,650
18年度	94,842	45,794	16,772	157,408
19年度	96,300	47,300	16,691	160,291



（５） 年齢別読書状況表

年　　齢	貸　出　点　数	ﾊﾟｰｾﾝﾄ
０～　６	５，７９０点	３．７
７～　９	１２，２５９点	７．７
１０～１２	６，９５４点	４．４
１３～１５	３，３７１点	２．１
１６～１８	４，０９６点	２．６
１９～２２	３，３４５点	２．１
２３～２９	１１，６４１点	７．４
３０～３９	３３，８７０点	２１．４
４０～４９	２７，２７３点	１７．２
５０～５９	２２，８１９点	１４．４
６０～６９	１５，７４８点	１０．０
７０歳以上	８，９１９点	５．６
その他（団体）	２，１７７点	１．４
合　　計	１５８，２６２点	――――

＊未登録図書　２，０２９点を除く

（６） 登録者数

３８，４７２人

	児　童 （～12才）	一　般 （13才～）	計
男	９６１人	１４，２８０人	１５，２４１人
女	１，０３８人	２２，１９３人	２３，２３１人
計	１，９９９人	３６，４７３人	３８，４７２人

＊団体登録者　１２２人を除く

（７）リクエスト

総数　　２，４４９件

図書・雑誌						合計
自館		他館			不可	
所蔵	購入	県立	県内	県外		
1,434	287	525	154	20	29	2,449

＊他館借用（図書館間相互貸借）

県内	長崎市立	33	諫早	27	有明	25
	佐世保	19	森山	10	大村	7
	西諫早	7	多良見	5	五島	5
	口之津	3	長与	3	時津	2
	原城	2	松浦	2	雲仙	1
	深江	1	小長井	1	新上五島	1
県外	国会	9	伊万里	3	大分県立	2
	佐賀県立	1	熊本県立	1	京大付属	1
	福岡市総合	1	小郡	1	福岡県立	1

計　１７４件

＊他館貸出（図書館間相互貸借）

県内	大村	32	長与	16	有明	15
	時津	11	長崎市立	5	多良見	4
	諫早	3	松浦	3	五島	2
	有家	1	西諫早	1	森山	1
	新上五島	1				

計　９５件

＊不可

該当資料なし（未刊、発行所不明）	２１件
品切れ絶版	４件
雑誌扱いのため	３件
漫画のため	１件

計　２９件

◇貸出ベスト

1．一般書（文芸書）

	資料名	著者名	出版社	分類
1　位	楽園　上・下	宮部みゆき	文藝春秋	F
2　位	鈍感力	渡辺　淳一	集英社	914
3　位	東京タワー	リリー・フランキー	扶桑社	F
4　位	還らざる道	内田　康夫	祥伝社	F
5　位	長野殺人事件	内田　康夫	光文社	F
6　位	相棒に手を出すな	逢坂　剛	新潮社	F
7　位	幻夜	東野　圭吾	集英社	F
7　位	夜明けの街で	東野　圭吾	角川書店	F
9　位	赤い指	東野　圭吾	講談社	F
１０位	風の盆幻想	内田　康夫	幻冬舎	F

一般書（その他）

	資料名	著者名	出版社	分類
1　位	女性の品格	板東真理子	PHP研究所	159
2　位	毎日おかずを変えられる組み合わせ自由自在べんとう		講談社	596
3　位	佐賀のがばいばあちゃん	島田　洋七	徳間書店	779
4　位	老化は体の乾燥が原因だった	石原　結実	三笠書房	498
5　位	ひとりたび１年生	たかぎなおこ	メディアファクトリ	291
5　位	生協の白石さん	白石　昌則	講談社	049
5　位	長崎に来ちゃった！	のざわのりこ	長崎新聞社	291
8　位	どん底	そのまんま東	音羽出版	779
9　位	小林カツ代の毎日のおかず	小林カツ代	講談社	596
１０位	働くママの超かんたんレシピ		ブティック社	596

2．児童書（絵本・物語）

	資料名	著者名	出版社	分類
1　位	かいけつゾロリ　シリーズ	原　ゆたか	ポプラ社	91
2　位	１００万回生きたねこ	佐野　洋子	講談社	E
3　位	ミッケ　シリーズ	ウォルター・ウィック	小学館	E
4　位	アンパンマン　シリーズ	やなせたかし	フレーベル館	E
5　位	ほうれんそうマン　シリーズ	みづしま志穂	ポプラ社	91

児童書（その他）

	資料名	著者名	出版社	分類
1　位	はたらくじどうしゃ	海老原美宜男	小学館	53
2　位	歯と歯みがきのひみつ	宇津木聡史	学　研	49
2　位	恐竜キャラクター大百科		カンゼン	45
4　位	ぴょこたんのなぞなぞーねんせい	このみひかる	あかね書房	79
5　位	ゲゲゲの鬼太郎妖怪大事典		講談社	77

3．ビデオテープ

	資料名
1　位	リロアンドスティッチ
2　位	チップとデール
3　位	となりのトトロ
3　位	スチュアートリトル
3　位	天空の城ラピュタ

	資料名
6　位	くまのプーさん
7　位	三匹の子ぶた
8　位	ファインディング　ニモ
9　位	魔女の宅急便
１０位	トムとジェリー

7．蔵書数

（１）　図書

	一　般　書	児　童　書	合　　計
０総　　記	２，０３０冊	３０６冊	２，３３６冊
１哲　　学	２，５２４冊	２０７冊	２，７３１冊
２歴史・地理	５，３３２冊	８７４冊	６，２０６冊
３社会科学	７，８１９冊	７７２冊	８，５９１冊
４自然科学	４，３１９冊	１，６２６冊	５，９４５冊
５工学・技術	６，２８４冊	５６８冊	６，８５２冊
６産　　業	２，２２１冊	４０５冊	２，６２６冊
７芸術ｽﾎﾟｰﾂ	５，９７２冊	９９６冊	６，９６８冊
８言　　語	１，１４２冊	２４４冊	１，３８６冊
９文　　学 Ｆ小　　説	３２，２０１冊	紙芝居　500冊 絵本　8,351冊 読み物　9,581冊	５０，６３３冊
Ｒ辞　　典	１，５８８冊	――――	１，５８８冊
郷　　土	４，３２２冊	――――	４，３２２冊
その他	１，０５７冊	――――	１，０５７冊
合　　計	７６，８１１冊 （７５．９％）	２４，４３０冊 （２４．１％）	１０１，２４１冊

（２）　視聴覚資料

種　　類	点　　数
カセットテープ	１，４９８本
ビデオテープ	１，５２７本 （貸出用１，０５７本）
レーザーディスク	２３７枚
コンパクトディスク	８７２枚
レコード	１３０枚
合　　計	４，２６４点

（３）　雑誌　　１０８　　誌

種類別	件数	雑誌名
一般雑誌他	31誌	週刊朝日　週刊新潮　サンデー毎日 週刊文春　中央公論　文芸春秋　諸君 世界　現代　歴史読本 プレジデント　日経ビジネス 財界九州　商業界　エコノミスト　時刻表 コミュニティ　ダイヤモンドザイ いきいき　ビッグトゥモロウ　モノマガジン ザ・ながさき　ながさきプレス　アエラ ダ・ヴィンチ　Ｃａｂネット　メンズノンノ 児童心理　みんなの図書館 この本読んで　月刊ニュースがわかる
婦人雑誌	28誌	きょうの料理　栄養と料理　オレンジ・ページ モア　リー　ノンノ　セブンティーン 美しい部屋　プラスワンリビング 婦人公論　家庭画報　母の友　婦人之友 クロワッサン　すてきな奥さん　主婦の友　エッセ おしゃれ工房　フィーメイル　レディブティック コットンタイム　こどもブティック　たまごクラブ ひよこクラブ　たまひよこっこクラブ ビーズアップ　私のカントリー　チルチンびと
文芸雑誌	８誌	短歌　俳句　文学界　おおきなポケット こどものとも　（年少向・年中向・４．５歳向） 月刊ポプラディア
科学雑誌	15誌	ニュートン　暮らしの手帖 ワン　猫生活　ホースメイト 健康　きょうの健康　週刊アスキー 月刊天文ガイド　子供の科学 かがくのとも　ﾅｼｮﾅﾙｼﾞｵｸﾞﾗﾌｨｯｸ日本版　日本カメラ 鉄道ファン　日経ＰＣビギナーズ
芸術趣味	26誌	将棋世界　碁ワールド　音楽の友　釣マガジン キネマ旬報　芸術新潮　ロードライダー モーターマガジン　週刊ベースボール　大相撲 ナンバー　月刊バレーボール　ピコロ バスケットボールマガジン　ランナーズ サッカーマガジン　ゴルフダイジェスト ビーパル　一枚の絵　ＭＯＥ　おりがみ 外戸本　じゃらん　旅の手帖　.ビズ　趣味の園芸

（４）　新聞　　１２紙

＊朝日　＊毎日　＊読売　＊日本経済　＊西日本　＊長崎
＊島原（２部）　＊西日本スポーツ　＊朝日小学生
＊週刊読書人　＊ジャパンタイムズ　＊点字毎日

8．行事（図書館活動および読書推進活動）

（１）図書館定例行事

＊一般対象

事業名	期日	回数	参加人数
郷土史を学ぼう会	毎月第４土曜日	１２回	５２７名

＊子ども対象

名作を見る会	毎月第２日曜日	１２回	２０６名
おはなしひろば	毎月第４土曜日	９回	２６４名
おはなしのじかん	毎月第1.2.3土曜	３４回	８３６名

（２）その他

実施月	事業名	参加人数
５月	ゴールデンウイーク映画会（２回）	６１名
７月	返却しおりのイラスト募集	１３０点
	手作り講座「こけ玉作り」	２０名
	たなばたまつり	３３名
	夏休み映画会（３回）	１４３名
	夏休み工作教室	２０名
	夏休みおりがみ教室	２０名
８月	夏休み科学あそび教室	１０７名
	廃棄本雑誌　市民配布	
	第1回島原半島おはなしフェスティバル	３００名
１０月	読書感想画展	２６４点
	図書館講座「島原城と薪能」」	３０名
１１月	図書館まつり（ﾌﾞｯｸﾘｻｲｸﾙ．おはなし会．映画会 特別貸出等）	１６３名
	句楽会俳句展	
１２月	手作り講座「クリスマスリース作り」	１９名
	クリスマスおはなし会	４０名
	冬休み映画会（１回）	６８名
３月	冬休み科学あそび教室	４２名
	手作り講座「布の絵本作り」（４回）	４８名

（３）他機関との連携（読書推進活動）

＊小中学校訪問（図書館だより・行事等配布）
＊三歳児健診時、一小・三会小へおはなし会
＊読書会等への協力
（句楽会．島原古文書を読む会．文連読書会．さくら読書会）
＊ブックスタート協力

二階　島原図書館付設

松　平　文　庫

「松平文庫」は、旧島原藩主松平家が歴代にわたり蒐集・所蔵していた古典籍類である。現在島原市が所蔵し、島原市有形文化財に指定されている。

三河国深溝松平家は、代々好学と篤学の家柄として知られている。島原の乱後の寛文９年（1669 年）、島原藩主に移封された松平忠房（主殿頭）は、その家風もあり、文学、歴史、兵法、絵図など、広く天下の貴重本を蒐集し、「尚舎源忠房文庫」を設けた。歴代藩主も学問を好み、古典を愛し、これらの遺風が継承されていった。また、文庫の蔵書は、寛政５年（1793 年）に設立された藩校稽古館の教科書となるなど、数多の人材の輩出にも役立ってきた。

廃藩置県後は、松平家の管理事務所に保管され、旧制島原中学校の古典の教科書として利用されるなどされていたが、昭和 23 年、島原公民館図書部に移管され、昭和 39 年４月 10 日、島原城天守閣復元を記念して、松平家から島原市に正式に寄贈された。その間、整理分類がなされ、昭和 36 年に「肥前嶋原松平文庫目録」が完成した。 現在、これらの古典籍類は、「松平文庫」として、島原図書館２階に修補保管されている。

「松平文庫」の蔵書は、和書、漢籍等約３，０００部、約１０，０００冊にも及ぶ。「写本伊勢物語闕書抄」「源氏物語」「夜の寝覚」「蜻蛉日記」などの多数の貴重本や稀有本のほか、漂流者の聞書による「墨是可新話」、藩政の記録である「藩日記」、藩士の身分などを書き記した「士分明細帳」などの貴重な記録も含まれている。また、地図や絵図も多く、６メートルを越す「京都大絵図」や「人体解剖図」などもあり、「西日本一の古典籍の宝庫」とされている。

また、「松平文庫」とは別に、約３，０００点の古文書収蔵室文書がある。これは、郷土関係の古文書類が中心で、「島原松平藩文書」「深溝松平家文書」「宮川家文書」「木綿屋文書」「大隅家文書」など１７種に分類しているが、その多くは、近世後期資料である。このほか、「気楽院文庫」の一群には、「原城陣記集」など、島原の乱関係を主とした写本などもある。

これらの古典籍は、全国の国文学研究の学者や学徒、市民の研究・読書グループ、市史編纂室などの調査研究の対象として注目され、活用されている。

昭和４５年から始まった修補作業も蔵書裏打業務もほぼ完了し、現在部分修補に入っている段階である。

今後とも、さまざまな方々の調査研究に大いに貢献していくことであろう。

島原市指定文化財（典籍）

肥前島原　松平文庫閲覧規定

島　原　市　教　育　委　員　会
松　　平　　文　　庫

1．　松平文庫収蔵庫蔵書（以下蔵書という）を閲覧するときは、所定の閲覧願を提出して許可を受けてください。

2．　閲覧は、島原図書館内の松平文庫閲覧室でおこなってください。
なお閲覧室は禁煙となっていますので、ご注意ください。

3．　蔵書を閲覧室外に持ち出すことは、かたく禁止します。

4．　閲覧にあたって筆記具を使用するときは、鉛筆に限ってこれを認めます。
鉛筆以外の筆記具は、いっさい使用しないでください。

5．　蔵書の写真撮影は、学術研究・調査などについて必要と認めたものに限ってこれを許可します。

6．　写真撮影にあたっては、所定の写真撮影許可願を提出して許可を受けて下さい

7．　撮影した写真は、学術研究・調査などの目的以外に使用することはできません。
　また上記の目的終了後は、陰画（ネガフィルム）を島原市教育委員会に提出してください。
　スライド撮影については、事前にご連絡ください。

8．　蔵書の翻刻を行なうときは、あらかじめ翻刻許可願を島原市教育委員会に提出して許可を受けてください。

9．　原本の電子複写は、原則として許可いたしません（副本は可）。

※上記の規定に違反した場合は、閲覧をお断りすることがあります。
※その他不明の点は、係員におたずねください。